

霧島・永水  
土砂流出

# 県「雨対策が不十分」

霧島市霧島永水の大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設現場

で5月中旬に大量の土砂が雨によって流出した問題で、鹿児島県は

3日、「施工中の雨水対策が不十分だったことが原因」との見解を示した。県議会代表質

問で、東條広光環境林務部長が答弁した。

東條部長は雨水対策について、土砂崩れを防ぐ芝張りが一部未施工だったことや土のうの設置不足などを挙げ、雨への備えが間に合っていないなかったと指摘した。

県森づくり推進課によると、建設業者は工事を中断し、防災調整池に流入した土砂の撤去などを続けている。

同課の増永英樹課長は「迅速な応急処置や再発防止について業者へ指導助言を続ける」と話した。（五反田和美）